

安全・安心な町づくりの推進に努めます



小清水町長
林 直樹

町民の皆様、新年あけましておめでとございます。平成23年の年頭にあたり、新年のご挨拶を申し上げます。

皆様には希望に満ちた新春をお迎えること心からお慶び申し上げますとともに、日頃からの町政全般に対する温かいご理解と絶大なご協力に厚くお礼申し上げます。

ここに新年を迎え、本町の一段の躍進を期して、新春の気がみなぎるのを覚えますが、長年言い続けられてきた「地方分権」や「地方主権」という言葉を背景に、期待と不安が交錯する中、今後、国の施策や地方行政がどう変化していくか未知数な部分もあります。しかし、町民の皆様の負託に応え、安心して働き暮らせる、そして将来を担う子供たちに誇れるまちづくりの実現のために、国や道からの情報収集を密にし、来る平成23年度の予算編成に向けて、適切な対応を図って参りたいと考えております。

さて、私も2期目の町政を担うこととなって以来2年目を迎える中、昨年は町民の皆様そして議会のご理解をいただきながら、緊急雇用創出事業や太陽光発電設置補助等の事業を推進して参りました。

その中でも町民の皆様がいつでもどこでも都市部と同様に情報の通信ができるよう、町内全域を対象とした「光ブロードバンド網」の整備事業は、地域間の情報交換をはじめ、各種産業や教育の環境整備、高齢者や要援護者に対するネットワーケ体制の確立など、多くの分野において事業効果が表われると考えられ、その成果が今後大いに期待されることでもあります。

本町の基幹産業である農業は、農業者の皆様方そして関係機関のご努力により支えられておりますが、今日における農業情勢は大変厳しい状況にあり、昨年、参加交渉のための関係国との協議開始が表明されたTPP(環太平洋戦略的経済連携協定)問題が注視される中、本年の農業政策を取り巻く環境は大きな転換期を迎えるかもしれません。しかし、本町の恵まれた大地を活かした循環型農業の確立による農産物の産地化、差別化をより一層推進し、農業政策の充実を図るとともに、酪農の振興も図って参りたいと考えております。商工観光の振興につきましては、国内における景気低迷による経済不

況が私たちの生活を直撃する状況の中、町の顔でもあります商店街の活性化を図るべく協議を商工会等とも連携を図りながら行い支援していくとともに、本町の恵まれた自然環境に配慮した農村景観ルートの確立と観光産業の振興を図って参ります。

健康・福祉の充実につきましては、少子化対策が本町行政の最も大きな課題と認識しておりますので、子育て支援の充実をより一層図るとともに、各種予防接種も含めた町民の皆様の健康づくりに対する支援、そして、特別養護老人ホーム「愛寿苑」の移転改築に向けた整備計画の策定作業を進めるなど、高齢者の皆様に安心して暮らしていくことのできるまちづくりの対策を講じて参ります。また、本町の基幹病院である小清水赤十字病院との連携による地域医療の確保を図り救急消防体制の充実強化により、町民の皆様の生命及び財産を守って参ります。

教育の充実につきましては、子供の視点から学校教育を考え、小学校の再編を推進して参りましたが、保護者及び地域の皆様のご同意をいただきましたことから、小学校の建設事業を進めるとともに、中学校の改築についても計画的に実施できるよう準備して参ります。

安心して暮らすための生活基盤整備については、安全な飲料水の確保を図るべく上下水道の整備や生活・

産業道路の整備などを計画的に実施して参ります。

新年度予算編成に当たっては、一昨年末より話題となっており、評価の「国の事業仕分け」により、評価の対象となった事業が、具体的に本町にどのような影響を及ぼすのか、地方への移管が望ましいと指摘を受けた事業の財源はどうなるのかなど、不安や懸念がつきまとう状況ではあります。自立した自治体として、限られた財源を有効活用し、「身の丈にあった財政運営」を目指すべく、町財政の健全化を推進して参ります。そして、とかく前例の踏襲となりがちなお役所仕事を、事務の効率化と事業の有効性について再点検を行い、真に必要なものを根本から積み上げ「やるべきことはやる」を基本に、各種施策を展開して参ります。

町民の皆様方が、将来にわたり安心して暮らせることができる安全・安心な小清水町として、次の世代にしっかりと生活基盤を引き継いでいけるよう、必要な施策を進めて参りたいと思っております。

そして、新たに策定される第5次小清水町総合計画に基づき各種施策に全力で取り組んで参ります。新しい年、平成23年が皆様にとりまして健康で幸せな年であり、また、お祈り申し上げる年頭のご挨拶といたします。

謹賀新年 平成23年 年頭のごあいさつ



小清水町議会
議長
奥村 誠

町民の皆様、新年あけましておめでとうございます。本年も、昨年同様よろしくお祈り申し上げます。輝かしく希望に満ちた新春を迎えるにあたり、皆様のご清福とご繁栄を心からお祈り申し上げます。私たち議会議員10名は、皆様の負託に応えるため、少数精鋭で日夜努力をしているところであり、町長とともに町政の充実・進展のため努力する所存でございます。昨年は、本町の基幹産業であり、5月下旬にかけて低温や雨の日が多かったものの、6月に入り好天に恵まれたことから豊作年になるものと期待されておりましたが、その後において急激な気温の上昇と降雨による多湿な状況が続く、畑作主要3品を中心に生育に影響を及ぼす状況となり、最終的にも小麦・馬鈴薯・ピー



トの収量、品質はともに減と聞いております。長年にわたる営農者皆様の土づくりなど、土地改良事業に取り組んでこられた農業者の皆様をはじめ、各関係機関、団体のご努力が報われなかったものと大変心配をしております。

また、一昨年の「自由民主党」から「民主党」へと歴史的な政権交代から1年5ヶ月が経過しましたが、引き続き急激な円高、デフレにより、大きな影響を受け続けている企業も少なくなかったのではないのでしょうか。これら、国内外の経済状況は、昨

年11月のTPP(環太平洋戦略的経済連携協定)の関係では、関税を原則10%撤廃するものであり、農林水産省の試算ではこれが実現すると食料自給率は10%台に落ち込み、国内農業のみならず関連産業のGDP(国内総生産)は壊滅的な打撃を受けることになると思っております。今後の状況についても全く不透明で、特に厳しく注視していかねばなりません。

小学校の再編につきましては大変大きな課題であり、一昨年12月に私を除く全員で設置した「小学校統合校舎建設特別委員会」で、小学校再編に伴う新校舎建設について調査及び検討を行っております。

これからの町政につきまして、議会としても、今年4月に行われる改選後には更に議員同士の研鑽を深め、町民の要望を行政に伝えられるよう努力したいと考えております。

現在、地方を取り巻く状況として、政権交代により地方交付税が昨年以上にどのようになるか不透明であり、財政的には依然として厳しい状況にあります。

本町においても行財政改革が進められており、公共料金の見直しや、町の各施設の有料化が図られ、また管理については、指定管理者制度や

業務委託により運営がされており、ます。今後とも議会での議論を重ねるとともに、町民の皆様の協力もいただかなければならないと考えております。

これからのまちづくりを進めるにあたり、議会としても行政と町民の皆様とが課題を共有し、協働して自主・自立への取り組みを一層進めていかなければならないと考えております。

町民の皆様のご期待に応えるよう決意を新たにしておりますので、本年も温かいご支援とご協力をお願い申し上げますとともに、皆様のご健勝とご多幸をご祈念申し上げ、新年のご挨拶といたします。

